

18th Scientific Meeting of the Japanese Society of Anti-Aging Medicine

第18回日本抗加齢医学会総会

<http://www.mediproduce.com/18jaam>

CONGRESS PREVIEW <プレ特集号>

A2E:

Anti-Aging Environment

会長 山田 秀和

近畿大学医学部奈良病院皮膚科教授
近畿大学アンチエイジングセンター副センター長

2018年

5/25(金)~27(日)

大阪国際会議場



主催：一般社団法人日本抗加齢医学会

当日参加登録費 ※事前参加登録は受付終了

● 正会員	18,000円
● 非会員	20,000円
● 学 生(大学院生) <small>※当日学生証を持参してください</small>	5,000円
● 学 生(学部生) <small>※当日学生証を持参してください</small>	無 料

現金・またはクレジットカードでお支払いください

学会費

● 入会費	5,000円
● 正会員 年会費	10,000円
● 学生会員(大学院、学部、専門学校)	5,000円

各種問い合わせ先

- 入会 参加登録 | <日本抗加齢医学会事務局>
E-mail: info@anti-aging.gr.jp
- 当日運営 | <株式会社JTB 西日本MICE事業部>
E-mail: jaam2018@jtb.com
- プログラム | <株式会社メディプロデュース>
E-mail: 18jaam@mediproduce.com

SPECIAL
INTERVIEW

第18回日本抗加齢医学会総会 会長インタビュー

運動・食事・精神・環境の4つの要因から
アンチエイジングの現在と将来展望を探る

日本抗加齢医学会は抗加齢(アンチエイジング)医学を科学的に実証する
日本で最大の学術団体であり、
その第18回総会が5月25日(金)~27日(日)に大阪で開催される。
そこで総会会長の山田氏に、本総会のテーマや見どころについて話をうかがった。



第18回日本抗加齢医学会総会

会長 山田 秀和

近畿大学医学部奈良病院皮膚科教授
近畿大学アンチエイジングセンター副センター長▶エクソゾームの概念に基づき
運動、食事、精神とともに環境を重視

このたび第18回日本抗加齢医学会総会の会長を務めさせていただき近畿大学医学部奈良病院皮膚科、近畿大学アンチエイジングセンターの山田です。今年は当センターが創設され、10年の節目に当たります。このタイミングで会長を務めさせていただくのは、大変光栄であるとともに身の引き締まる思いです。

本総会のテーマは、「A2E: Anti-Aging Environment」です。これまで本学会は、運動、食事、精神(脳)を三大テーマとして、抗加齢医学の基礎研究の進歩、実践的・横断的な学問の成果を発信することにより、健康長寿社会の実現に寄与することを目指してきました。近年、生体はあらゆる外部環境との関係で成り立っているという「エクソゾーム(exposome)」の概念が注目されています。この概念に照らせば、住環境における光、音、空気、温度、湿度、化学物質はもとより、腸内や皮膚表面の細菌叢、ストレスなども外部環境ということになります。

私自身が専門とする皮膚科領域に即していえば、アトピー性皮膚炎を単なるアレルギー性疾患として説明するのは不十分であり、こうした生体と外部環境との複雑なインタラクションを多角的に捉える必要があります。紫外線の問題についても、皮膚老化の観点からは避けた方が望ましいですが、ビタミンD不足による骨密度の低下を防ぐ意味では過度なUVケアは慎むべきです。こうして考えると、抗加齢医学の各領域において、運動、食事、精神とともに環境を重視し、包括的な対策を提示する必要があります。本総会で

は、抗加齢医学における環境の問題を考えるセッションを設けています。

▶プレジジョンメディシンを
アンチエイジングにどう生かすか

本総会では、「長寿」との関連が注目されるサーチチェーン遺伝子の活性化が期待されるニコチンアミドモノヌクレオチド(NMN)、ミトコンドリアダイナミクスと老化、睡眠と脳機能および臓器連関などについても最新の知見が示されます。また、疾患と老化を分けて扱うことが難しくなっている状況に鑑み、エクソゾームやエピゲノムの知見に基づくプレジジョンメディシン(Precision medicine: 精密医療)、予防医学、個別化医療における新たな展開についても有益な情報が提示されます。さらに、見目のアンチエイジングを決める要素とは何か、どのように介入すれば若々しさを保てるかを考えるセッションも引き続き設けております。

私自身、アンチエイジングドックを運営する立場から関心を抱いているのは、今後、精密医療をどう扱うかということです。最近、米航空宇宙局(NASA)に所属する双子の宇宙飛行士の1人が地球の重力圏にとどまり、もう1人が無重力空間で過ごしたところ、双方のDNAに相違が認められたことが報じられました。個人的には、このような精密医療によって得られた知見をアンチエイジングの日常臨床に導入したいと考えています。そのためには、エピジェネティクスを含めた次世代シーケンサー、人工知能(AI)により得られた遺伝子情報から、老化や疾患発症の要因となりやすい生活習慣の改善策を提示する専門職の育成が求められます。

また、例えばスマートフォンのアプリなどの活用によりライフスタイルとバイタルの変化をフィードバックするなど、今後、生活習慣の改善に役立つテクノロジーの開発が進むと思われますが、その際、機器の品質を担保する機能性表示の検討が求められる可能性があります。

▶分野横断的、職種縦断的な特徴を生かし
多職種連携の可能性を探る

本学会は、食品やサプリメントの機能性表示の問題にも積極的に取り組んできました。本総会では高気密断熱ハウスの健康への影響をどのように評価するかを考えるセッションが設けられています。食品、サプリメント、トレーニングマシン、シューズ、ウェア、建築など、衣食住を包括した機能性表示のあり方を考える上で参考になれば幸いです。

もう1つ重視したのは、抗加齢医学における多職種連携です。本学会会員は8,000人以上にのぼり、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、理学療法士、作業療法士、臨床心理士、臨床工学士、農学者、建築家、美容家など、多彩な専門職で構成されています。本総会においても、抗加齢医学の各領域でそれぞれの専門性を高め、互いに知識や経験を共有していかに連携していくかを探る上で、本学会の分野横断的かつ職種縦断的な特徴が生かされることを期待しております。

本総会は4年ぶりの大阪開催となります。より多くの参加者にお集まりいただき、運動・食事・精神・環境の4つのテーマから、抗加齢医学の進歩がもたらした成果と課題、将来展望を探る機会になれば幸いです。

注目! SESSION

特別講演
1Do Epigenetic Changes
Cause Aging in Mammals?

【座長】 Kazuo Tsubota

Department of Ophthalmology,
Keio University School of Medicine

【演者】 David A. Sinclair

Department of Genetics,
Harvard Medical School

David A. Sinclair

25日(金) 13:50-14:50 第1会場

老化の要因として、エピジェネティクスにおける転写ノイズによるクロマチン構造の変化が注目されている。Sinclair氏らは、DNA二重鎖切断(DSB)により誘導されるエピジェネティックノイズが老化に関与しているか否かを解明するため、エピジェネティックノイズを生成する「ICEマウス」を作製して検討を行った。その結果、ICEマウスでは骨密度の低下、筋肉量および脳機能の低下、白内障、皮膚老化、白髪、細胞の老化・虚弱など、加齢に伴う変化が早期に発現していた。これらの結果は、哺乳動物におけるDNA修復プロセスの不具合により惹起されるエピジェネティックな変化と一致した。また同氏は既知の物質の投与によりこうした老化のプロセスの進展を抑制・逆転しうるかについても検討しており、これまでに得られた知見を紹介する。

招待講演
1

抗加齢医学における睡眠衛生

【座長】 市橋 正光

アーツ銀座クリニック

【演者】 西野 精治

スタンフォード大学 睡眠・生体リズム研究所、
スタンフォード大学医学部精神科

西野 精治

25日(金) 16:40-17:30 第1会場

日本人の睡眠時間は世界で最も短く、さらに短縮する傾向にある。『スタンフォード式 最高の睡眠』の著者として知られる西野氏は、睡眠の質の低下がもたらす健康被害について最新の知見に基づき講演する。脳は最も活発な臓器であり老廃物が多く産出されるが、老廃物を排泄するリンパ管は存在しない。しかし近年の研究から、グリア細胞に発現する水チャネルであるアキアポリンの関与により脳脊髄液が脳実質内に流動し、老廃物を除去する機能(グリンファティックシステム)が存在することが明らかになった。このシステムは睡眠中に活性が4倍程度上昇することが知られている。同氏は過去に、アルツハイマー病モデルマウスに睡眠制限を行うと脳内にアミロイドβが異常蓄積し、老人斑の形成を導くことを報告しており、この発生機序にグリンファティックシステムが深く関与することが示唆される。



光環境とエイジング

【座長】三島 和夫 | 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所・精神生理研究部
 【座長】坪田 一男 | 慶應義塾大学医学部眼科学教室

25日(金) 9:00-10:30 第1会場

光環境がエイジングにもたらす影響について5人の演者が講演し、互いに議論を交わす。満尾クリニックの満尾正氏は、ビタミンDと骨粗鬆症、生活習慣病の関連を示す知見を紹介し、日本人の多くが過度のUVケアや食生活の変化によりビタミンD欠乏症に陥っている現状を報告する。一方、近畿大学

医学部奈良病院皮膚科／近畿大学アンチエイジングセンターの山田秀和氏は、紫外線の皮膚老化促進因子としての側面を指摘、抗加齢医学の観点からUVケア用品の適切な選択と使用法、ビタミンD摂取など包括的な対策を提言する。慶應義塾大学医学部眼科学教室／おおたけ眼科つきみ野院の綾木雅彦氏は、就寝前に携帯端末などを操作することで、体内時計を乱す原因となるブルーライトを浴びている現状を指摘し、有効な対策法を示す。国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所・精神生理研究部の三島和夫氏は、光環境が睡眠と気分調整に及ぼす影響を考察し、光と睡眠リズムの調節により不眠や抑うつ症状を改善するための取り組みを紹介する。慶應義塾大学医学部眼科学教室の坪田一男氏は、バイオレットライトが近視の進行を抑制するとの仮説に基づき、近視の予防・治療における新たな展開について言及する。



進化する機能性表示食品制度：抗加齢医学への応用

【座長】森下 竜一 | 大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学
 【座長】駒村 純一 | 森下仁丹株式会社

26日(土) 9:00-11:00 第3会場

行政の立場から、消費者庁食品表示企画課の赤崎暢彦氏が機能性表示食品制度の現状と展望について最新情報を提供する。産業界からは、味の素株式会社の木村毅氏が健康食品産業協議会の取り組み、特定保健用食

品、栄養機能食品、機能性表示食品および関連サービスの可能性、環境整備への期待について言及する。株式会社ファンケルの宮島和美氏は企業の立場から、機能性表示食品制度活用の現状と成果を紹介するとともに、今後の課題について提言する。一方、田中消化器科クリニックの田中孝氏は医師の立場から、低栄養状態および胃切除後の患者、アンチエイジングドック受診者に対し、不足栄養素の補充に機能性表示食品を使用している現状を紹介、医療機関における今後の活用の可能性について探る。消費者庁表示対策課食品表示対策室の阿部洋介氏は機能性表示食品の広告のあり方をめぐり、景品表示法および健康増進法上の留意事項、虚偽誇大広告の判断、表示と規制対象者、違反要件、問題となる可能性がある事例などについて具体的に紹介する。



抗加齢指導士のあり方をめぐって

【座長】葦沢 龍人 | 東京医科大学
 【座長】齋藤 英胤 | 慶應義塾大学薬学部薬物治療学

27日(日) 10:40-12:10 第5会場

抗加齢指導士のあり方をめぐり、看護師、薬剤師、臨床検査技師、医師の立場から講演および討議が行われる。東京医療保健大学の坂本すが氏は、2015年に施行された「特定行為に係る看護師の研修制度」をめぐる議

論を踏まえ、看護師が抗加齢医療に参画する上での課題、研修修了看護師の今後の活動への期待を述べる。慶應義塾大学薬学部医療薬学医療薬学・社会連携センター社会薬学部門の山浦克典氏は、アンチエイジングドックにおいて薬剤師が職能を発揮しうる業務として、生活指導やサプリメント摂取についての助言、医師と協働して行う処方提案を挙げ、これらを実践する上で必要となる卒前・卒後カリキュラムの現状と課題を明らかにする。三井記念病院臨床検査部の石崎一穂氏は、臨床検査技師の業務拡大として、患者に検査結果の説明を適切に行う上での課題を整理する。国際医療福祉大学医学部の北村聖氏は、医師の立場から、さまざまな専門職が参画する抗加齢医療において、抗加齢指導士が多職種連携について学び、実践するためのカリキュラムのあり方について論じる。



100歳現役時代の到来 生涯、若く、美しく!

すぐに役立つ 最新・アンチエイジング習慣

80代になっても、趣味や旅行を満喫したい! 健康人生の最新情報を公開

【総合司会】南 美希子さん キャスター・エッセイスト

参加費無料(先着800名さま)

事前登録制・参加申込み先 <http://www.kateigaho.com>

- 日時: 2018年5月27日(日)
 ・15時 開場 ・15時15分 開演予定 ・17時45分 終了予定
- 会場: 大阪国際会議場(グランキューブ大阪) 5階大ホール

お問い合わせ先: 世界文化社イベント事務局
 TEL: 03-3262-5851(土日、祝日を除く10時-17時)

主催: 一般社団法人日本抗加齢医学会 共催: 特定非営利活動法人日本抗加齢協会、家庭画報 後援: 大阪府、大阪市

プログラム

開会の挨拶 山田 秀和先生 第18回日本抗加齢医学会総会 会長

大阪発 鼎談講演

2025年、大阪万国博覧会に向けて
 「大阪発 健康都市宣言」



【講演者】松井 一郎さん
大阪府知事



【講演者】山田 秀和先生
第18回日本抗加齢医学会 総会 会長



【講演者】森下 竜一先生
日本抗加齢協会 副理事長

「家庭画報」でおなじみ “美しい人” 特別ゲストトークショー

美しく年齢を重ねる、女優のこだわり健康術を教えます



【特別ゲスト】ジュディ・オングさん
歌手・女優・木版画家

【司会】南 美希子さん
キャスター・エッセイスト



「家庭画報」人気連載中 講演

みるみる、美しくやせる! 病気知らずになる!
 ゆるやかな糖質制限ダイエット



【講演者】山田 悟先生
北里大学北里研究所病院 糖尿病センター センター長



【ゲスト】城戸 真亜子さん
洋画家・タレント

同時開催 決定

アンチエイジングフェア in Osaka

関西テレビ・日本抗加齢協会が主催する「アンチエイジング」体験体感イベントを大阪にて初開催!

日時 2018.5.25(金)・26(土)・27(日) 10:00-18:00(3日間) 会場 大阪国際会議場(グランキューブ大阪) 1階プラザ・7階特設会場

入場 無料

■お問い合わせ先
 アンチエイジングフェア実行委員会
 ☎ 06-6356-0833
<http://antiagingfair.net/>

